



とつか
2018年9月会報 第287号

国際会長(IP) Moon Sang Bong (韓国)

2018 主 題 “Yes, we can change” 「私たちは変えられる」

スローガン “Courage to challenges” 「挑戦への勇氣」

アジア太平洋地域会長(AP) 田中 博之 (東日本区)

主 題 “Action” 「アクション」

～ スローガン “With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」

東日本区理事 (RD) 宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)

主 題 「為せば、成る」 “No challenge, No fruit.”

2019 スローガン 「ワイズが何をしてくれるかではなく、あなたがワイズに対して何が出来るかを考えて実行しよう」

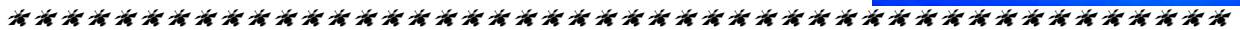
湘南・沖縄部部長 佐藤 節子 (厚木)

主 題 「心を元気に きずなを深めあえるワイズをめざそう！」

クラブ会長 浦出 昭吉 「今こそ会員増強目指して初心に帰ろう」

主 題 副会長 吉原 訓 書記 加藤 利榮 会計 鈴木 ひろ子

メネット事業 吉原 和子 担当主事 瀬戸 俊孝



会員ひと言

大高 聡

～ワイズの皆さまと共に～

私たち横浜 YMCA が、日ごろより横浜とつかワイズメンズクラブをはじめとする湘南・沖縄部のワイズメン、メネットの皆さまから様々にお力添えをいただいていることに改めて感謝申し上げます。

湘南とつか YMCA では、今年で25回を迎える YMCA・い～とつか祭の「のみの市」を、新たに『ワイズバザー』と名称を変更して開催していくことになりました。今年もワイズメンズクラブや戸塚東口商店会、ユースリーダー、地域の皆様と共に「YMCA・い～とつか祭実行委員会」を立ち上げ、準備を進めていく予定です。また、チャリティーランや東日本大震災復興支援チャリティーコンサートなどのイベントにおいても、長年にわたり継続的にご支援いただいていることが、ワイズメンズクラブと YMCA の大きな絆であり、パートナーシップの価値に繋がっているのではないかと思います。そして、私たち YMCA は、そこに働くボランティアやスタッフがいるとともに、その地域で活動している他のボランティア組織（グループ）と共に働くことに大きな価値を見出していくことが大切であるとも考えます。ワイズの皆さまには、いつもお世話になることばかりではありますが、引き続きのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

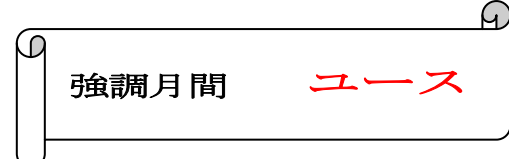


◎今月の聖句◎

すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。

—コリントの信徒への手紙Ⅱ・12章9節から—

「十分である」という言葉は「十分足りている」ということも意味します。人々にはそれぞれに十分足りている恵みを与えられています。弱さも恵みと信じ、共に生きていく保護者、保育者でありたいものです。



ユース、今月は、今や伝統となっているユースボランティア・リーダーズ・フォーラムが開催される月、略して YVLF、例年、山中湖センターで開催されてきました。

東日本区内のユースボランティアリーダーを対象に行う東日本区主催のトレーニングプログラムを指す。開催費用は、部ごとに集められる各クラブからの拠出金で賄われる。

今年は、9月7日（土）から9日（日）までの日程で開催される。さらに、ユースを中心とした国際的な集まり、ユース・コンボケーションが国際大会、地域大会と同時に開催される。帰朝報告会が楽しみですわね…。

8月在籍者数			8月出席者数			出席率	ファンド	B	F	B	F	CS・TOF・A S F (円)	B A P Y (円)	ロ	バ
メ	ン	11	メ	ン	10	94%	他	(円)		(g)					
			メ	ネット	3		前		0		0	0	0	0	0
				ゲ	スト	25	当		0		0	0	0	0	0
			計	19	合	計	累		0		0	0	0	0	0

★強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う★

☆鎌倉・横浜とつかクラブ合同納涼例会（第1例会振替え）報告☆

浦出 昭吉

日時： 2018年8月21日(火) 18:30~21:00

会場： 加藤ワイズ宅 庭園

出席者：(ゲスト) 岡戸良子様・古知屋光洋様・行田修平様・山根誠之様

(ビジター) 浅見隆夫様・伊藤幾夫様・吉田明弘様・佐藤部長・伊藤部会計・金子直前部長(ほか計) 38名



心配されたお天気も、暮れる頃にはカラッと晴れ上がり、夕月も望める絶好のコンディション、三々五々と到着されるお馴染みの顔々、お互いにご挨拶を交わし、開会を待ちます。

定刻、第21回鎌倉・横浜とつかクラブ合同納涼例会は、長田光玄主事の司会で始まりました。ワイズソング、信条に続いて、千葉会長による開会点鐘とご挨拶、両クラブの会長とYMCAによる伝達事項があって、早速、本日のメインの一つ、岡進さんの再入会式が加藤ワイズの司式で始まりました(写真上)。

佐藤部長の後見人、両クラブ会長と吉原・若木元会長が立会人となり、私の式辞朗読で始まり、「…について、ご奉仕されることにご異議ありませんか。」との問いに、『ハイ』と岡さんは力のこもった声で応えられ、握手の礼とバッジの付与、記念品の贈呈、岡さんの紹介、佐藤部長のお祝いの言葉、そして岡さんからの所信表明があって、式はつつがなく、厳粛に終わりました。岡さんは、55年3月生まれの当年とって63歳、人も知る岡久雄ワイズ(仙台クラブ)のご子息さんに当たられ、現在、奥様と鎌倉にお住まいです。ご本人も書いておられるように、これを機にクラブ活動も何らかの形での変革と貢献・発展が出来ればいいなあ…と感じた次第です。➡

そして、厳粛なひと時が終わり いよいよ懇親会タイムです。長田主事の食膳の祈りに続いて、浅見隆夫元東日本区理事による乾杯の発声で、その幕は切って落とされました。引きも切らずに運ばれてくるお料理に忙しく手と口を動かし、適度のアルコールも加わって、見渡せば、歓談の輪がここかしこに広がっています。私自身は、主に浅見ワイズとテーブルを囲んでのお話し、在京ワイズにもご多分に漏れず高齢化の波が押し寄せている現状にあることや、休会ワイズも増えてきていることなど、お互い、‘厳しい現実論’の交歓(?)となりました。ややあって、司会者から「参加者一覧」の順に発言とクラブ紹介が求められ、和気あいあいの中にも、ユーモラスに、また加藤ワイズへ…と申すより、そのご家族様へのご苦勞をねぎらう発言が相次ぎ、さらに加藤ワイズがここ10年以上にわたってのお仕事先の所長さんからは、「…毎回頂くレポートの通しナンバーが2千号を超え、それ自体が大変貴重な資料となっている…」ことなどの紹介も有りました。

ふと気が付けば、予定された閉会の時刻、ハッピーバースディは該当の5名に記念品が贈られて大合唱、拍手の内に閉会点鐘となりました。有り難うございました。



☆再入会に初心を思う☆ 岡進

皆さん、こんにちは。この度、「再入会」いたしました岡です。最初は94年に入会しましたが、仕事の上で出張が多くなったこともあり、一旦、退会しました。この度、仕事をリタイアしたのを機に再びお仲間に入れていただくこととなりました。

よろしく願いいたします。

私自身、まだまだワイズに対する理解は不十分ですが、ワイズの基本はYMCAの活動支援であり、またYMCAは最近大きく変化しつつありますが、やはり幼少期の子どもから青年に至る若い人たちが心身ともに健康を保ち、自分の人生を生き生きと歩んでいく力を身に付ける、そのような場を提供することが、一つの大きな使命とっております。

しかし、その子どもたちが今の私たちと同じ年齢になる将来のことを考えると、思わず心配になる状況・課題が多くあります。エネルギー・環境問題、少子高齢化など多々ありますが、価値観など精神的なことも気がかりです。

これらの課題について私たち一人ひとりは無力ですが、ワイズの仲間でご知恵を出し合い、共に力を尽くせば、何らかの形での変革に貢献できるのではないのでしょうか。そのようなことも夢見ながらの再入会です。 Yes, we can change!

☆納涼例会余聞☆ 加藤利榮

“8月19日18時、暑い陽射しも落ち着き、坂の上にそびえるお城のような邸宅、わが加藤ワイズのお住まいである。”…で始まる1998年9月号とつかのブリテンに元井逸子ワイズによる書き出し部分、あれから20年余り、1994年のクラブ設立年度から4年目に始めたこの会合、偶然に区の大会とも回数が重なる。時に、小原・小山・樫村・藤井・浅見・高田・越智・清水・河合の諸氏、歴代理事が一堂に会したり、ウクレレとフラの饗宴が繰り広げられたりした年も有ったが、総じて控えめなワイズの集まりに徹して今日に及んでいる。思えば、ただの一度だけ雨にたたられ、4張りのテントと裏の車庫を使う羽目となったが、そこはワイズ、当意即妙に対応して事なきを得たこともありました。

さて、継続は何とやら…も良いが、そろそろ自身の限界を考え、また、環境の変化などを思うとき、この辺りが引け際かな…とも思う昨今です。いずれにしても今まで家族に掛けたご苦勞、改めて人一倍感謝したい。



【特別寄稿】

☆情熱と誇りをもって☆



東日本区次期理事 山田 敏明 (十勝クラブ)
次年度、理事を拝命します山田敏明です。
横浜とつかクラブの皆さんには、じゃがいもフ
ァンドをはじめ、長きお付き合いをさせてい
ただき、誠にありがとうございます。

加藤利榮ワイズは、私が最も尊敬するワイズのおひとりです。
19年前の十勝で開催された第18回アジア地域大会の際、実行
委員会の顧問として関わって頂き、当時、事務局長であった私
に、ワイズとしてのたくさんのご教示を頂き、ワイズの素晴ら
しさをより知る機会を得ることができました。私の持ち前のパ
ワーは、この時からスタートしたといっても過言でなく、加藤
ワイズのお陰です。

さて、この経験があつてか、来年7月に仙台で開催される
第28回アジア太平洋地域大会の実行委員長も兼務させていただ
きます。実行委員長としての責務を全うするため、プログラム
を充実し、全国を駆け巡り、アピールに努め、また皆さんが
何かを感じ、次に進める、そして行動につながる大会にしたい
と思います。

情熱と誇りをもって、事業推進に奔走しますので、横浜とつか
クラブの皆さんのご支援を頂けますよう、よろしくお願いいた
します。

(この程、とちの山田さんから原稿を頂きました。

山田さん、素敵な原稿とお写真を有り難う。)

☆部エクステンション委員会から☆

浦出 昭吉

今年度第1回となる標題の委員会が、辻委員長の招集により
7月30日(月)19時から中央Y・606号室にて開かれました。

佐藤部長と委員長の挨拶があつたのち、各人に委嘱状が交付
されて決意を新たに、続いての議事では、①委員増員の件に
ついては、当日出席の各クラブ代表(会長ら12名)から更に
適任者を推薦すること、②前回(第7回)議事録承認の件、
③今年度の活動方針の件では、当面、ACT、藤沢及び保育園
にターゲットを絞り込むことを確認、④沖縄の件に関しては、
今後とも粘り強くアタックする。⑤委員会活動費の件では、部
からの奨励金交付に伴い、会計担当に千葉会長(鎌倉)が取扱
責任者に指定された。また、各クラブの担当主事には、本委員
会の趣旨を理解させ、なお積極的に働き掛けを実施する。

なお、当日出席の加藤ワイズに関しては、アドバイザーの形
で今後とも参加してもらう事が全会一致で決議された。

次回委員会は10月1日(月)を確認し、20:30、閉会した。



☆‘祈りのナガサキ’に☆

加藤 利榮



長崎に原爆が投下された8月9日
(木)と同日、YMCA-ACTにおいて、
18:30から「祈りのナガサキ」のテー
マで体験会が開かれ、参加しました。
「語り手」は投下の当日に、同居して
いた義母やその隣に住んでいた伯母
らが被爆者の看護で放射能汚染し、
当時、国民学校～現小学校～1年生だ

った語り手の佐藤千郎氏が、これらを目の当たりにしての惨
状から、今でも記憶に生々しい光景を語り、“平和とは”、“平
和憲法への思い”などについて、今こそ平和への思いを再確
認しようではないかと、呼び掛けられた。被爆者の救護にあ
たった人たちの多くは、被爆者に残留していた放射能を浴び、
被爆者(二次)となが、その事への理解度は低く、その間の
肉体的・精神的苦痛は、筆舌に尽くしがたいものがあつた。
さきの義母や伯母は、二次被爆者として昭和30年代に入っ
てガンにより、いずれも60歳台前半で死亡した。今こそ
日本国憲法への思いを新たに、特にその『前文』に流れる

‘憲法のこころ’を読み解くことが必要ではないか…、と。
そして、終わりに、アッシジのフランシス“平和の祈り”
を引用され、『ああ主よ、わたしに求めさせてください。慰
められるよりも慰めることを、理解されるよりも理解するこ
とを、愛されるよりも愛することを。』と結ばれました。

☆今年もJ.T. スウィフト墓参に☆

加藤 利榮

今年もまたその時期となり
ました。8月11日(土)正午
に、山手の横浜外国人墓地に
集合し、東京YMCAへの派遣
主事であったJ.T.スウィフトと
ミラー両主事墓前礼拝が行われ、
参加してきました。



当初、大藤啓矩さんの提唱で始まり、誘われるままに何人か
と訪れているうちに、彼も故人となられ、横浜YMCAが引継
母体となり、そして発展的に今ではYMCA史学会が主催して、
毎年、この時期に開催することが定着しました。

今年も30名ほどが現地に参集、古田和彦さん(横浜クラブ)
の司会で、あらかじめ献花された両主事の墓前で行われ、讚美
歌斉唱・聖書朗読・祈祷・主の祈り、そして記念撮影があつて、
その後は、大藤さんのお墓(本牧教会共同墓地)にも立ち寄り、
ここにも献花して祈ったのち、墓地を出て、これも恒例となっ
ている中華街の料理屋で懇親昼食会が開かれ、参加しました。

この日は殊のほか厳しい暑さ、冷房の効いた会場に入ると、
皆さん、言い合わせたようにホッとした表情に戻っていました。
いつも高齢ながら、東京から参加される齋藤実さんや鎌倉の小
林道彦さん、また“とげぬき生活相談所館長”で知られ、教育
心理学者の坂口順治さんのお顔もお馴染みです。ご本人から伺
ったお話ですが、坂口さんは、この相談所長を始められて50
年になるとか…。正に“継続は力”であると思いました。

☆YMCA だより☆

瀬戸 俊孝

～委員研修会と三都市会議から～

今年の委員研修会は、8月25日(土)、湘南とつかYMCAホールにおいて、光州YMCA・上海YMCA・横浜YMCA三都市会議とドッキングさせて開かれました。…と申しても、研修会の方は98年以来で20年目、一方の三都市の方は30年を迎えたとか…。双方、歴史の古さに関しては人後に落ちません。‘一堂に会して…’とはいえ、委員さん方の座席は、後ろ半分でごめられ、会議関係者は、舞台近くの前方に…といった具合で、お客様に当たる光州YMCAは舞台に向かって左側、そして右側に上海YMCAの席に…といった配置です。昼食になる頃には、かつて光州に少年サッカー交流試合で派遣された加藤ワイズは、現地の体育主事の李東熙さんと握手しながら、何年ぶりかの邂逅を懐かしんでいました。

会議のテーマである『持続可能な資源の保護・永続化』について、午後のセッションでは、とつかクラブの岡ワイズからYMCAとして取り組むべき在り方に関する疑問がなされ、岡さんを皮切りに何人かの委員の方からも貴重な疑問が出て、委員の皆さんも大いに参考になったことと思われま

す。クロージングは、“それぞれのYMCAに戻ってもみんなが繋がっている”事を思い出しましょうということで、参加者全員でサークルになって、拍手のうちに終わりました(写真)。



☆今月の歳時記から☆

‘菊きく’と‘曼珠沙華まんじゆしゃげ’

‘菊’、菊は平安時代に中国から渡来したもので、今では、春の桜と並称されるわが国の代表的な花となっています。

花の大きさから、大菊、中菊、小菊に分け、大菊の大輪咲きは一茎に一輪を付け、厚物咲ともいいます。中菊は、狂い咲きの変化を見せ、小菊は多くは懸崖造りなどに仕立てます。

菊の香のしみとおるような澄んだ秋の日を菊日和といいま

す。花ことばは「明るい、高尚」。

菊の香や奈良には古き仏達 芭蕉
手燭して色失へる黄菊かな 蕪村

次に‘曼珠沙華’、彼岸花の別名。秋の彼岸の頃、川辺の堤や畔、墓地などに生えます。葉の無い30センチほどの花茎を急に伸ばして、頂きに真紅の美しい花数個を輪状に咲かせる。群生して、そのあたりを真っ赤に燃え立たせ、何か妖な感じがある。多く墓地などに、葉がないのに花を開くので、死人花、捨子花、幽霊花などの不吉な名があるが、決して不快な花ではない。

曼珠沙華あれば必ず鞭うたれ 虚子
曼珠沙華雲はしづかに徘徊す 誓子

(午)



☆9月・10月のこよみ☆

- >9/4(火) 第82回Y-Y's協議会・中央Y・19:00
- >9/8(土) サポートセンター「レザン」献堂・開所・10:00
- >9/15(土) 湘南・沖縄部 部会・レンブラントホテル厚木
- >9/24(月) YMCA会員スポーツ大会:フェリス大体育館
- >9/25(火) 第2例会:湘南とつかYMCA 205号室・18:30
- >9/29(土) You & I コンサート:都筑区公会堂
- >10/6(土) 第1例会:湘南とつかYMCA ホール・18:30
- >10/13(土) 横浜YMCAチャリティーラン・MM2 1地区
- >10/23(火) 第2例会:湘南とつかYMCA 205号室・18:30

～9月会合のご案内～

◇ 9月25(火) 18:30 ・湘南とつかYMCA 205号室

～ 第2例会 ～

▲ 大事なご相認がありますので、是非ご出席願います。

～HAPPY BIRTHDAY～

有田 征彦さん 9月20日
浦出 昭吉さん 9月27日
佐藤 康子さん 9月11日

【掲示板】

会 長

◎ ワークサポートセンター「レザン」について

- ア 上覧のこよみにもあるように、9月8日(土)の10時から、現地で献堂・開所式が開催されます。
- イ 場所は、戸塚駅西口側(YMCAとは反対側)国道に面した消防署のはす向かい側になります。
- ウ クラブの皆さんで、ご都合のつく方は是非、ご出席をお願いします。
- エ パン工房‘アンジュ’とともに、クラブの支援対象に…と考えております。

◎ 湘南・沖縄部の部大会にご参加を…。

- ア 日 時: 9月15日(土) 14時～18時
- イ 場 所: レンブラントホテル厚木
- ウ その他: ◎会場は、あの厚木大会の時の晩餐会の会場と同じ処です。

◎クラブから、次の5名が参加の予定ですが、なおご都合着く方のご参加をお待ちしております。

岡・加藤・土方・吉原・浦出

◎ You & I コンサートのお知らせ

- ア 恒例の都筑区公会堂において開催されるコンサートです(横浜つづきクラブ主催)。
- イ ティケットは、すでに加藤書記が預っています。
- ◎ 2ページの納涼の写真3枚は、いずれも金子功ワイズご提供のものです。

(後記)

今年は、二百十日も二十日もなく、嵐の連続、不順なお天気が続きますが どうぞご自愛のうえ、ご活躍ください。

爽秋の秋が待ち遠しいですね…。

〈TK〉